

南の風

- ・巻頭言
- ・学習のあしあと・その3
- ・いじめ見逃しゼロスクール旬間
- ・インフルエンザ感染対策、1月の予定



日常の中にある心揺れる体験

校長 若狭 陽一

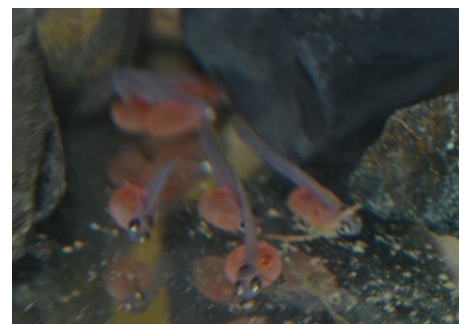
今年もあれほど暑かった夏、秋でしたが、今ではすっかり、寒い冬となりました。

雪の中を子どもたちは一生懸命登校してきます。私は、校門で子どもたちとあいさつや簡単な会話を交わすことが、毎日の楽しみとなっています。子どもとの会話から、朝の限られた登校の中にも、子どもたちにとっては、たくさんの心が揺れる体験があることをつくづく感じることができます。以下、今年度のいくつかを紹介します。

- お母さんから作ってもらった手編みの帽子を嬉しそうに紹介してくれた子ども
- ハンカチや手袋など、落とし物を拾って届けてくれた優しい子どもたち
- 買ってもらったばかりの傘が風で壊れて、困っていた子ども
- 転んで、ズボンを汚してしまっただけで、平気そうにしている子ども
- 交差点の石柱が壊れていたなど、通学路の風景が変わった驚きを報告してくれた子どもたち
- 道端で摘んだきれいな花や珍しい草を、喜ばせようとプレゼントしてくれた子どもたち
- その日の給食を楽しみにしていることを伝えてくれた子どもたち
- パトカーに乗車している警察官に敬礼を返された嬉しそうに話してくれた子どもたち
- 間違っササンダルを履いてきて、困ってしまった子ども
- 転んだ子どもの助けを呼びに来てくれた優しい子どもたち
- 途中で、お気に入りの髪留めを落としてしまって悲しがっていた子ども
- 正義感をもって落とし物を交番に届けたことを報告してくれた子どもたち
- 朝なのに、空に月が出ている不思議さを話してくれた子どもたち

これらのように、登校中でもたくさんの心揺れる体験があるのですから、毎日の学校生活の中ではもっともっとたくさんの体験があります。そして、たくさんの心揺れる体験が、子どもたちの成長には欠かせません。

最近、授業等を参観すると、1年生が音楽の授業で輪になり楽しそうに踊りながら歌を歌っていました。その中で、「アンコール」の子どもたちの声が響きます。何回もみんなの心を合わせる喜びを感じている場面でした。また、3年生は、初めての書初め練習に取り組んでいました。先生に直してもらいながら、気に入った字が書けたときは、本当に嬉しそうな顔をして



4年生が毎日観察しているサケが先日孵化しました

いました。特別な行事はもちろんなのですが、学校生活の大半を占める日常の授業にこそ、心揺れる体験がたくさんあります。どうぞ、この冬休みに、ご家庭でも子どもたちに学校生活の様子を語らせていただければと思っています。その中に、保護者のみなさんが思いもしなかった素敵な体験があるはずです。本格的な冬が到来しました。どうぞ、充実した冬休みをお送りください。休み明け、また元気に登校する子どもたちに会えるのを楽しみに待っています。